

令和3度9月7号補正予算説明一覧

番号	担当課	事業名
1	文化課	松坂城跡保存整備事業費
2	学校支援課	いじめ等対策事業費

番号	1
事業名	松坂城跡保存整備事業費 (動線計画作成)
予算額 (主な支出)	補正要求額 3,000 千円 (委託料 3,000 千円)
特定財源	なし
事業の概要	史跡松坂城跡の城内道 (園路) の路面等整備や雨水排水整備を含めた動線計画を作成する。
事業の背景など	松坂城跡整備検討委員会の指導により、城内道 (園路) 整備については史跡松坂城跡整備基本計画を踏まえ、中長期を見据えた具体的な動線計画を作成する必要性が生じた。
目的・効果など	城内道 (園路) 整備等により来訪者に快適な滞在環境を提供することができ、文化財、都市公園、観光拠点としての利活用が促進される。
事業スケジュール	令和3年10月～ 動線計画案作成 令和3年12月 松坂城跡整備検討委員会
添付資料	なし
備考	なし
担当課	産業文化部 文化課 担当者：松葉、寺嶋 電話 53-4393

番号	2
事業名	いじめ等対策事業費
予算額（主な支出）	5,892 千円
特定財源	
事業の概要	子ども一人ひとりの学級満足度や学校生活への意欲を測るとともに、学級集団の状態を的確に把握し、集団生活に必要な対人関係を営む技術が身についているかどうかを把握するため、標準化された検査（hyper-QU）を実施し、実態に応じた指導の充実を図る。
事業の背景など	昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約1か月、一昨年度末も含めると約2か月の臨時休業処置が講じられた。人との交流機会が減り、コミュニケーションがとりづらい状況の中で、子どもたちが様々な不安を抱えて生活していることが懸念された。そのため、年間2回実施しているQ-U（学級満足度尺度調査）の2回目をhyper-QUに変更して実施した。現在もコロナ禍が続いていることや、昨年度、コロナ感染不安を理由に登校できなかった子どもたちもいることから、状態をより丁寧に把握し、一人ひとりにあった支援や指導を行うため、今年度も2回目のQ-Uをhyper-QUに変更し、小学校2年生から中学3年生の児童生徒を対象に実施する。
目的・効果など	Q-Uは、学校生活への意欲や充実感を測ることができる標準検査である。hyper-QUは、Q-Uの質問項目に、人間関係を築いていくために必要な人への「配慮」と「関わり」のスキルがどの程度身についているかを把握できる観点が加わったものである。これにより、児童生徒一人ひとりや学級全体の状況をより丁寧に把握し、実態に応じた支援や取組を行うとともに、いごちがよく、学校生活に意欲をもって取り組める学級づくりをめざす。さらには、児童生徒や学級集団の状況を把握することで、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決につなげる。
事業スケジュール	R3.10 事業開始
添付資料	あり
備考	なし
担当課	教育委員会事務局 学校支援課 担当者：大辻、畑中 電話 53-4403

Q-U とは？

Q-U (学級満足度尺度調査) : Questionnaire Utilities (直訳: 有益・有用なアンケート)
 ⇒ 児童生徒が楽しい学校生活を送るためのアンケート

Q-U を構成する 2つの尺度

(1) 学級満足度尺度 ※【図1】参照

観点① 被侵害得点

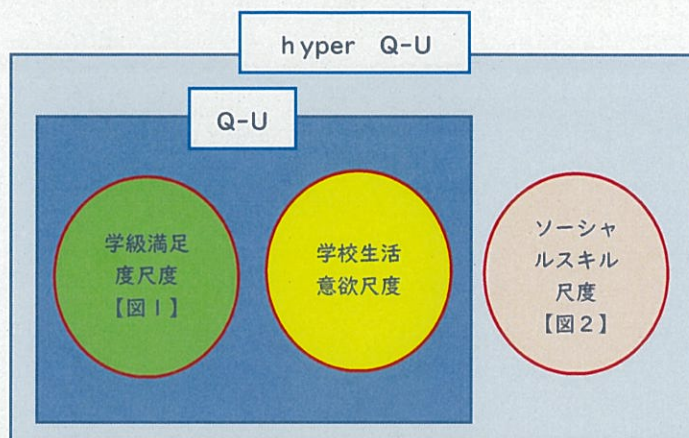
トラブルやいじめなどの不安がなく、
 リラックスできているか

観点② 承認得点

自分が級友から受け入れられ、考えや
 感情が大切にされていると感じられるか

(2) 学校生活意欲尺度

学校生活における意欲や充実感



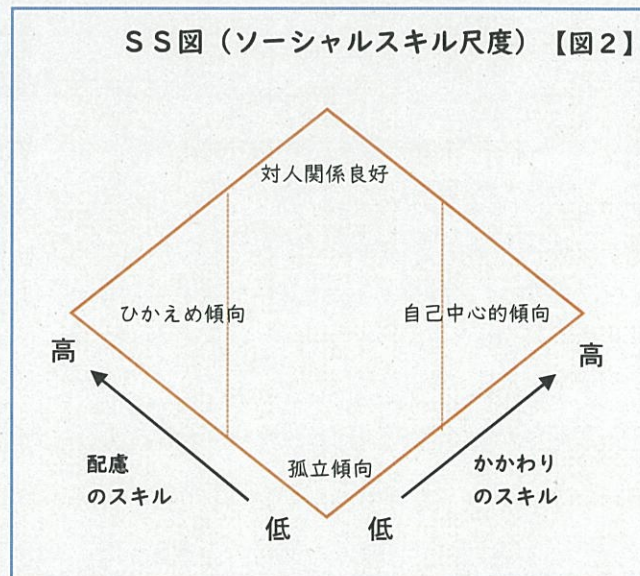
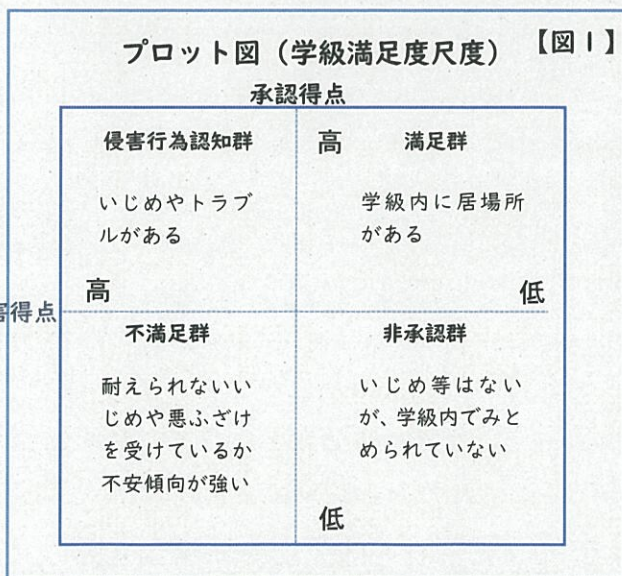
hyper-QU の特徴

hyper-QU では Q-U 診断尺度に加え、学級集団での生活に重要であり、対人関係を築く際に必要なソーシャルスキル尺度が加えられている。

学級の中で児童生徒がどのような状態にあるかを表す「プロット図」、「SS図」を中心に、個人表を活用して、児童生徒一人ひとりの状態を把握し、適切な対応を図ることができる。

「ソーシャルスキル尺度」 ※【図2】参照

学校生活を送る上で、基本となるソーシャルスキルは、「配慮」と「かかわり」の二つの領域から成り立ち、この二つを得点化し、評定することで、一人ひとりのスキルの定着度がわかるとともに、各個のスキルのバランスを見ることができる。



<hyper-QU 委託料> 5,892,000 円

491 円 × (11,000 人 + 緊急 1,000 人) = 5,892,000 円

【内訳】 検査用紙(200 円)、コンピュータ診断(260 円)、CD データ(31 円)